

勝山市の小中学校の望ましい在り方検討委員会の中間報告

「勝山市の小中学校の望ましい在り方検討委員会」から中間報告がありましたので、その概要を公開します。

平成17年4月27日

勝山市教育委員会

目 次

- 1 はじめに
- 2 『小・中学校の望ましい在り方を考える』
 - (1) 地域に開かれた魅力ある学校づくり
 - (2) 学校の適正規模から見た望ましい学校づくり
- 3 平成16年度検討事項のまとめ
- 4 検討委員会委員名簿

は じ め に

本検討委員会は、少子化に伴い児童生徒数の著しい減少が見込まれる中、地域に開かれた魅力ある学校づくりや小中学校の適正な規模や配置等、当市の小中学校の望ましい在り方について検討することを目的に設置した。委員会は市内各界各層の代表者で構成し、平成16年7月7日に初回の委員会を開催し、以来8ヶ月の間に6回の委員会を持った。

初年度は、現状と将来見通しを把握するとともに、問題点を出し合い、今後の検討すべき課題等について整理した。本検討委員会は、3年間かけて検討し、平成18年度に検討委員会の意見をまとめることになっている。

検討委員会のまとめについては、勝山市教育委員会で慎重にその取扱いを検討する予定です。

第1回委員会 平成16年7月7日開催

- ・委嘱書交付、委員長、副委員長選出
- ・当市の児童生徒数の現状と今後の推移について

- 第2回委員会 平成16年8月3日開催
・勝山市の小中学校の望ましい教育の在り方について
- 第3回委員会 平成16年9月14日開催
・児童生徒数の減少に伴う望ましい教育の在り方について
- 第4回委員会 平成16年10月22日開催
・幼稚園問題検討委員会答申後の経過について
・少子化による児童生徒の推移とこれからの教育の方向性について
・特認校制度について
- 第5回委員会 平成16年12月7日開催
・学校と地域の関係について
- 第6回委員会 平成17年2月17日開催
・県下8市の小中学校統廃合の状況について
・旧今庄町及び美山町における小中学校統廃合の事例報告
・勝山市の地区別の人口と世帯数について
・今年度のまとめについて

『小・中学校の望ましい在り方を考える』

当市の教育方針は、次の三つです。

1. 心の教育を推進し、新世紀を担う人材の育成を目指す。
2. 誰もが社会の一員としての自覚を持ち、一人ひとりが生かされる地域づくりを目指す。
3. 家庭・地域・学校の主体的な活動と互いの連携により、社会全体の教育力の向上を目指す。

これらの方針のもとに、21世紀を力強く生き抜く児童・生徒の育成を図るために、学校の果たす役割を見直し、時代に即した学校教育の在り方を考えることが求められています。

そこで、教育委員会では、『小・中学校の望ましい在り方』検討委員会を立ち上げ、次の二つの観点で、学校の活性化を図るために、平成16年度より18年度まで3年間をかけて検討を行います。

1. 地域に開かれた魅力ある学校づくり

学校の教育目標や指導方針が保護者はもちろんのこと、地域住民にも理解さ

れていると同時に、地域もまた、学校運営に対して様々な要望や提言を行うことができることが、今、望まれています。そこで、学校長は、リーダーシップを発揮して、学校が存在する地域の環境を生かし、地域の方々と共に、“地域に開かれた学校づくり”、“魅力ある学校づくり”に取り組むことが求められています。

2. 学校の適正規模から見た望ましい学校づくり

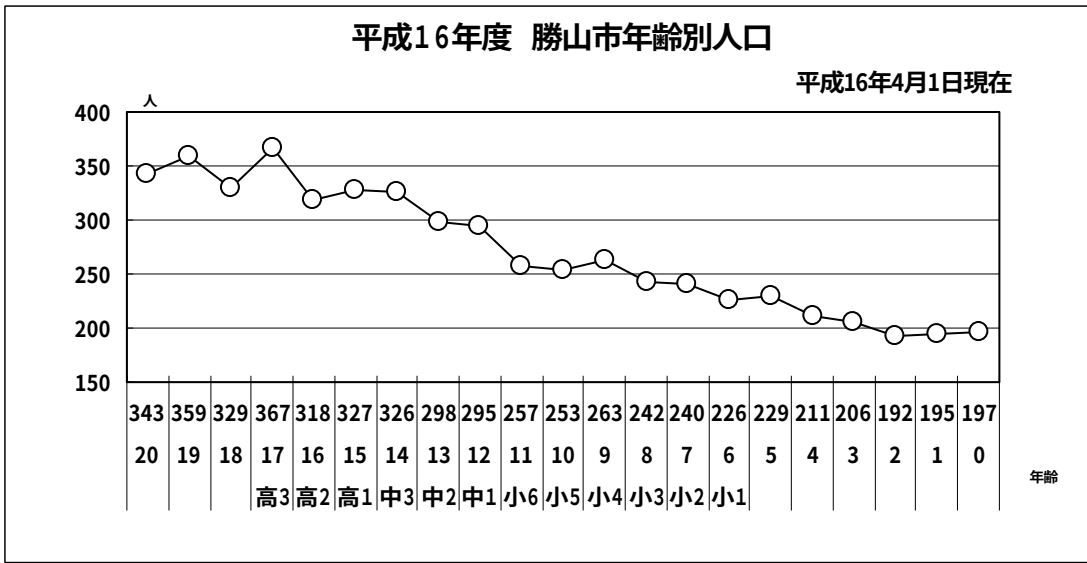
児童・生徒の成長にとって必要とされる集団教育の場が、どの程度の学校規模、どの程度の学級規模であることが最も適正であるのかを、児童・生徒の立場に立って慎重に検討する必要があると考えています。

平成22年度の市内小学校の各学年人数

(平成16年4月1日現在の0歳児～5歳児の数より算出)

学年 学校	1年 0歳	2年 1歳	3年 2歳	4年 3歳	5年 4歳	6年 5歳	合計 人数	1学年 平均人数	学級	複式学年
A校	5	6	6	5	6	6	34	5.7	4	2・3年, 4・5年
B校	9	1	7	7	7	4	35	5.8	4	2・3年, 4・5年
C校	5	5	7	8	9	11	45	7.5	4	2・3年, 4・5年
D校	14	22	10	16	15	17	94	15.7	6	
E校	16	14	13	10	20	17	90	15.0	6	
F校	26	16	17	16	15	23	113	18.8	6	
G校	25	32	33	39	39	38	206	34.3	7	
H校	42	33	29	34	30	38	206	34.3	8	
I校	55	66	70	71	70	75	407	67.8	13	
合計	197	195	192	206	211	229	1,230	22.7	58	

複式学級：隣接する学年の児童数が16人以下の場合編制する。ただし、1・2年のみ8人以下で編成する。



平成16年度検討事項のまとめ

(中間報告)

- 1 学校と地域は関係が深いので、地域の方の意見を学校教育の中に反映させるとともに、地域の教育力を活用し、地域に開かれた魅力ある学校づくりを進める。
- 2 校区の方に、子どもの数が大きく減少している現実を説明すること及び住民の方の意見を聞く機会を設ける。
- 3 望ましい教育環境をつくるため、地域住民一人一人が魅力ある学校づくりを支援するとともに、子どもの数の減少を食い止め増える手立てを考える。
- 4 児童生徒の減少が著しく、このままの状態では、将来極めて小規模の学校ができる。そこで現実を踏まえて、学級・学校の望ましい規模を検討する必要がある。
- 5 市民各界各層から広く意見を聞く方法について検討するとともに、情報の公開を進める。
- 6 校区外から入学を認める特認校制度等についても、調査研究を行う。
- 7 検討委員会による「小中学校の望ましい在り方」の検討を継続して進める。

勝山市の小中学校の望ましい在り方検討委員会委員名簿

(順不同・敬称略)

No	区 分	職 名 等	氏 名
1	市区長連合会	北郷町区長会長	島田 典幸
2		野向町区長会長	山内 俊成
3	学識経験者	市商工会議所会頭	荒井 由泰
4		小児科医師	河北 美紀子
5		児童文学作家	平泉和美（大庭 桂）
6	小中学校校長会	中学校校長会会長	南部 勇
7		小学校校長会会長	酒井 邦春
8	小学校PTA連合会	平泉寺小学校PTA会長	杉山 礼次郎
9		勝山南部中学校PTA会長	山内 澄
10	幼稚園父母の会連合会	成器南幼稚園父母の会	澤 充
11	保育園父母の会連合会	野向保育園父母の会	小泉 多加江
12	市教育委員会	教育委員会委員長	多田 誠治

オブザーバー	教育長	山 範男
--------	-----	------

事務局	教育部長	山本 一郎	教育委員会教育部 教育総務課
	教育専門監	石井 紀夫	
	指導主事	北内 範男	
	充指導主事	藤井 範子	
	主任	山内 正人	